

以下は、インド国の複数の新聞に掲載された、インド国国民向けの公示の日本語訳です。

シュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラスト (Sri Sathya Sai Central Trust)  
プラシャーンティ・ニラヤム (Prashanti Nilayam)  
プッタパルティ  
アーンドラ・プラデーシュ州  
注意喚起公示

**Bhagwan Sri Sathya Sai Baba** が設立した機関ならびにシュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラスト、大学であるシュリ・サティヤ・サイ・インスティテュート・オブ・ハイヤー・ラーニング (Sri Sathya Sai Institute of Higher Learning) およびシュリ・サティヤ・サイ・ローカ・セーヴァ・トラスト (Sri Sathya Sai Loka Seva Trust) は、プラシャーンティ・バラマンディラ・トラスト (Prashanthi Balamandira Trust) が推進するシュリ・サティヤ・サイ・ユニバーシティ・フォー・ヒューマン・エクセレンス (Sri Sathya Sai University for Human Excellence) という名の大学とは無関係であることを皆様にお知らせいたします。

以下の点を明白に申し上げます。

1.) 創設者兼理事である Bhagwan Sri Sathya Sai Baba は、シュリ・サティヤ・サイ大学 (Sri Sathya Sai University) を 1981 年に設立しました。この大学は、現在ではシュリ・サティヤ・サイ・インスティテュート・オブ・ハイヤー・ラーニングとして知られています。この大学には 4 つのキャンパスがあり、女性向けのキャンパスがアーンドラ・プラデーシュ州アナタプルにあるほか、バンガロール・ホワイトフィールド・ブリンダーヴァン、プッタパルティ・ウィッディアギリおよびカルナータカ州チッカバラプラ県ムッデナハッリのシュリ・サティヤ・サイ・グラーマにキャンパスがあります。上記のほかに、Bhagwan Sri Sathya Sai Baba は、公的慈善信託、すなわち、シュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラストも設立しました。これは、学校経営や医療援助活動などの多数の人的活動を遂行することのほか、給水供給などの公益事業を遂行することを目的としています。Bhagwan Baba は、唯一の理事でした。

2.) 1978 年 8 月 14 日、Bhagwan Sri Sathya Sai Baba は、シュリ・サティヤ・サイ・ローカ・セーヴァ・トラストとして知られる慈善信託機関を設立し、アリケー地区およびムッデナハッリ地区においてローカ・セーヴァ・ヴリンダ (Loka Seva Vrinda) として知られる団体が運営していた 2 つの学校の所有権および経営を引き継ぎました。これらの学校は成功し、人間的価値、普遍的な愛やすべての宗教およびその教えの尊重を重視する教育のモデルとなりました。Bhagwan Baba は、シュリ・サティヤ・サイ・ローカ・セーヴァ・トラストの唯一の理事でした。

3.) Bhagwan Baba がご自身の死去後、シュリ・サティヤ・サイ・ローカ・セーヴァ・トラストの信託証書は、理事を任命する権限をシュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラストの理事達に付与しました。権限の行使において、シュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラストの理事は、Baba のマハーサマーディ (死去) の後、Baba に代わって 2011 年 4 月にシュリ・サティヤ・サイ・ローカ・セーヴァ・トラストの理事を任命しました。しばらくの間、理事は調和的に活動していました。1 年後の 2012 年に、Sri B.N. Narasimha Murthy は、Madhusudhan Naidu 氏と共謀して、必要とされる理事全員およびセントラル・トラストの協議および同意なしに、法に反して自らの利益を得るために、信託証書を変更する文書をねつ造しました。この結果、訴訟が提起され、民事裁判所で係属中です。自らがシュリ・サティヤ・サイ・ローカ・セーヴ

ア・トラストの理事であるという Sri B.N. Narasimha Murthy の主張は、真実ではありません。Sri B.N. Narasimha Murthy およびその支持者は、サティヤ・サイ・ローカ・セーヴァ・トラストの資金および資産を流用するために、自らの個人名義で、自らの個人的な利益のために他の様々な信託機関の活動を始めました。その一つが、プラシャーンティ・バラマンディラ・トラストです。

4.) 現在では、2018年6月に、カルナータカ州議会が、プラシャーンティ・バラマンディラ・トラストが推進するシュリ・サティヤ・サイ・ユニバーシティ・フォー・ヒューマン・エクセレンスの設立について定める法律を制定し、同法がカルナータカ官報で公表されたことが判明しています。この新しい大学は、シュリ・サティヤ・サイ・ローカ・セーヴァ・トラストおよび Bhagwan Baba の他の機関の理事全員との事前通知または協議を一切行うことなく、秘密裏に設立されました。マスメディアおよびソーシャル・メディアでは、カルナータカ州グルバルガ地区における大学設立について、大々的な宣伝が行われています。このような広告においては、1950年の紋章および名称（不適切な使用の防止）法に基づいて保護されている Bhagwan Sri Sathya Sai Baba の写真、「シュリ・サティヤ・サイ」という名称およびサルヴァ・ダルマの紋章が、目立つ形で表示および使用されており、一般の人々、帰依者および寄付者に対して、シュリ・サティヤ・サイ・ユニバーシティ・フォー・ヒューマン・エクセレンスが Bhagwan Sri Sathya Sai Baba の正統な機関によって推進されている印象を与えています。これは完全に虚偽であり、誤解を招くものです。

5.) プラシャーンティ・バラマンディラ・トラストは、Sri Sathya Sai Baba が創設または設立した機関ではなく、シュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラストおよび Bhagwan Sri Sathya Sai Baba が設立した他の信託機関とは一切関係がなく、関連もありません。このため、2018年6月に、カルナータカ州政府に対して、前述の大学設立に関する Sri B.N. Narasimha Murthy らの違法行為に関する調査を開始し、違反者に対して適切な措置を講じるよう、法的通知が発せられました。上記に鑑み、事実関係を明らかにすることを目的として、この公示を公表しています。

さらに、シュリ・サティヤ・サイ・ローカ・セーヴァ・グループ・オブ・エデュケーションナル・インスティテューションズ、ムッデナハリ (Sri Sathya Sai Loka Seva Group of Educational Institutions, Muddenahalli) という団体は存在しないことも明らかになっています。皆様におかれましては、大学設立に必要な規制上の承認は一切得られておらず、現時点では、教育活動を開始するためのカルナータカ州政府および他の規制機関による承認は一切付与されていないことにご留意ください。大学の推進者は、学生の受け入れを開始するための法的要件を遵守していません。

皆様におかれましては、上記の点に留意し、プラシャーンティ・バラマンディラ・トラストおよび Sri B.N. Narasimha Murthy らによる誤った主張に騙されないようご注意ください。

日付：2018年7月15日  
て

シュリ・サティヤ・サイ・セントラル・トラストを代表し

理事兼事務局長

## Bhagwan Sri Sathya Sai Baba 様が設立された機関名

### 1) シュリ・サティア・サイ・セントラル・トラスト

(公的慈善信託機関として設立：学校経営、医療援助活動、給水供給など公益人道的活動の遂行)

### 2) シュリ・サティア・サイ・インスティテュート・オブ・ハイヤー・ラーニング

(1981年に設立されたシュリ・サティア・サイ大学の現在名)

### 3) シュリ・サティア・サイ・ローカー・セヴァ・トラスト

(1978年に慈善信託として設立)

### 1) シュリ・サティア・サイ・セントラル・トラスト

(公的慈善信託機関として設立：学校経営、医療援助活動、給水供給など公益人道的活動の遂行)

### 2) シュリ・サティア・サイ・インスティテュート・オブ・ハイヤー・ラーニング

1981年に設立されたシュリ・サティア・サイ大学の現在名であり、4つのキャンパスがある

1) アーンドラ・プラデーシュ州アナンタプル (女子大学)

2) バンガロール・ホワイトフィールド・プリンダーヴァン

3) プッタパルティ・ヴィッディアギリ

4) カルナータカ州チッカバラブラ県ムッデナハッリのシュリ・サティア・サイ・グラーマ

### 3) シュリ・サティア・サイ・ローカー・セヴァ・トラスト

1978年8月14日に慈善信託として設立、理事はバガヴァン・ババのみ。

アリケー地域、ムッデナハッリ地域においてローカー・セヴァ・プリンダ団体が運営していた2つの学校の所有権、経営を引き継ぐ。

バガヴァン・ババ様の死去後、シュリ・サティア・サイ・ローカー・セヴァ・トラストの信託証書、理事任命権はシュリ・サティア・サイ・セントラル・トラストの理事たちに付与。

2011年4月にシュリ・サティア・サイ・ローカー・セヴァ・トラストの理事が任命された。

2012年にナラシマ・ムルティ氏、マドゥスーダン・ナイドゥ氏は、**シュリ・サティア・サイ・セントラル・トラスト**の協議、同意なしに信託証書を捏造し、自らが**シュリ・サティア・サイ・ローカー・セヴァ・トラスト**の理事であると主張。(現在訴訟中)

ナラシマ・ムルティ氏とその支持者は、**シュリ・サティア・サイ・ローカー・セヴァ・トラスト**の資金、資産流用目的のため、個人的利益のため個人名義で、**プラシャンティ・バラマンディラ・トラスト**を利用。

2018年6月に、カルナータカ州に**シュリ・サティア・サイ・ユニバーシティ・フォー・ヒューマン・エクセレンス**という名の大学の設立を申請。

## ナラシマ・ムルティ氏、マドゥスーダン・ナイドゥ氏、その支援者

### 1) プラシャンティ・バラマンディラ・トラスト

### 2) シュリ・サティア・サイ・ユニバーシティ・フォー・ヒューマン・エクセレンス大学

**シュリ・サティア・サイ・セントラル・トラスト**と**プラシャンティ・バラマンディラ・トラスト**、及び、**シュリ・サティア・サイ・ユニバーシティ・フォー・ヒューマン・エクセレンス**は無関係であり、**シュリ・サティア・サイ・ローカー・セヴァ・グループ・オブ・エデュケーション・インスティテューションズ**、**ムッデナハッリ**という団体も存在していないことが明白となっている。

また「**シュリ・サティア・サイ**」の名称を使用することにより、誤解を招いている。

さらに**シュリ・サティア・サイ・ユニバーシティ・フォー・ヒューマン・エクセレンス**は大学設立のために必要な規制上の承認を得られていない。これらの一連の違法行為に関する調査を開始し、違反者への適切な措置を講じようカルナータカ州に対し法的通知が発せられた。